

マレーシア活動記録

記録日：平成 28 年 3 月 9 日

記録者：谷澤 希予 (PTS)

I. 活動時間

- 07:30 朝食
- 08:00 ホテル出発
- 09:00 Hospital Rehabilitasi Cheras(以下 HRC)見学実習
Stroke グループエクササイズに参加
- 09:30 Hydrotherapy
- 10:00 Amputation
- 11:00 理学療法 gym
- 12:00 病院内カフェテリアにて昼食
- 14:30 理学療法 gym
- 15:30 pediatrik
- 15:40 理学療法 gym
- 16:30 車いす体験
- 18:00 富臨門 (MARCO POLO) で夕食
- 21:00 帰宅



II. 活動内容

マレーシア 10 日目。今日は昨日に引き続き、マレーシアで唯一のリハビリテーション病院である HRC で見学実習を行った。まず始めに Stroke グループエクササイズに参加させて頂き、患者様の上肢、手指、下肢エクササイズを手伝わせていただいた。患者様は全員車いすに乗りながら一生懸命に行っており、ご家族の方も参加されていてとても雰囲気よかった。Hydrotherapy では 3 人の患者様が同時にリハビリを行っていた。身体を浮かせながら下肢を動かしていたり、支持基底面を変えてスクワットを行っていた。理学療法 gym では多くの患者様を見学させて頂いた。その中で、脳出血の患者様と脊髄損傷の患者様が印象的である。脳出血の患者様は右側の手術の傷口が大きく左麻痺で、私と同年代の方だった。覚醒状態が悪く、注意障害があると思われる。家に帰ることがゴールであるとおっしゃっていた。立ち上がり動作訓練を行っており、術後 11 日の人もすぐに運動させることに驚いた。C6 脊髄損傷の患者様は、身体のメンテナンスをかねて週 1 回来院している。起立台を用いて内臓の位置を正しい場所に戻したり、循環を良くするために行っており、また手首におもりをつけて筋力トレーニングも行っていた。彼にはダイビングやバスケットボール、卓球など多くの趣味があり、自分の身体の状況理解しつつ、多くのことをアクティブに行っていることにとても関心した。最後に UKM の実習生と車いすで段差を超えるやり方を教わった。うまくタイヤが持ち上がらない、バランスが保てない、タイヤをこぐ腕がとても疲れるなど、車いすの方の大変さを改めて学ぶことができた。

【自動平行棒】



【Pediatrik】

